
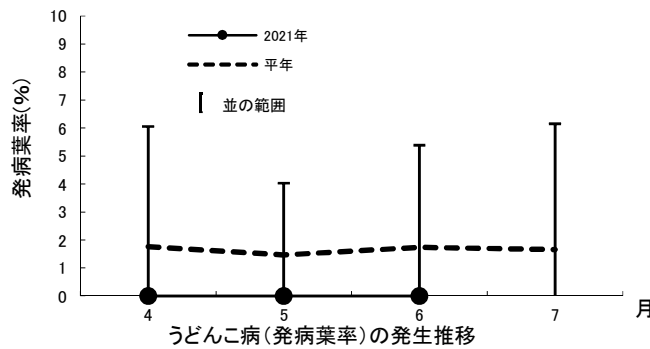


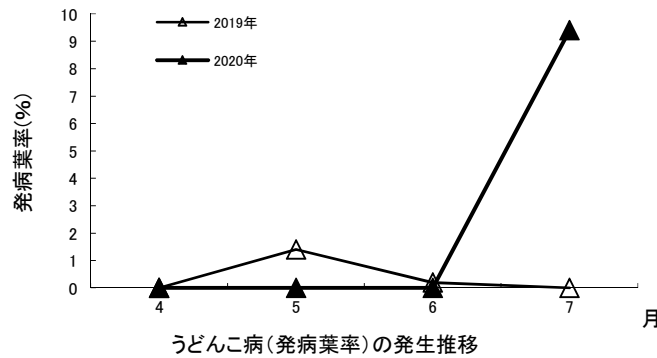
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	6 月からの増減傾向	→	
		7 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移




過去 2 年間の推移



発生ほ場率 : 0% (平年値 : 13.2%)

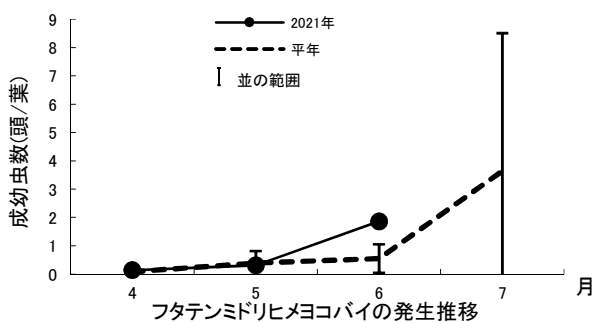
防除のポイント

- ・ 下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・ 窒素過多にならないようにする。
- ・ 草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

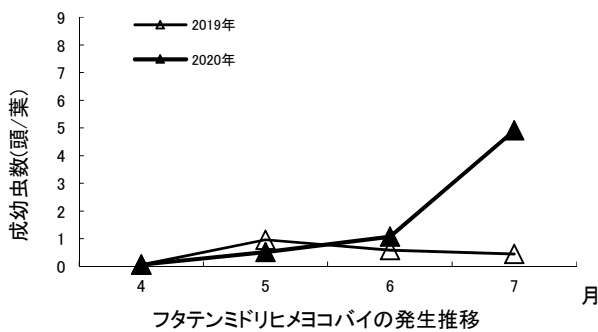
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	① フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移




過去 2 年間の推移



発生ほ場率 : 80.0% (平年値 : 68.4%)

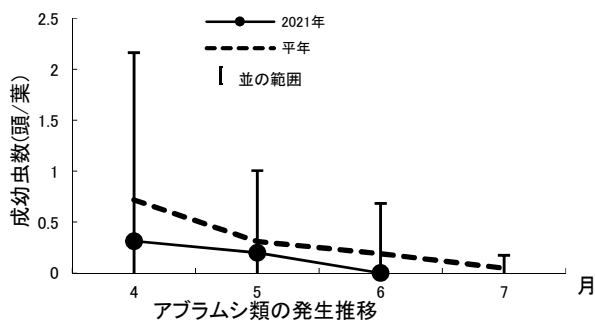
防除のポイント

- ・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

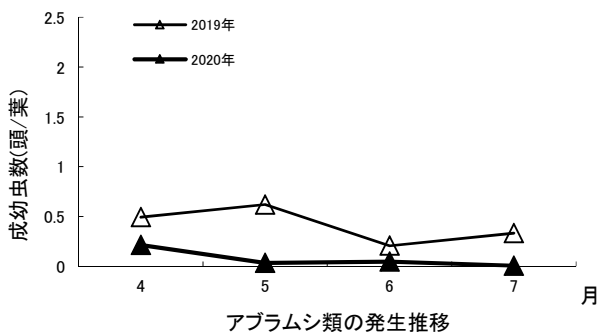
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	6 月からの増減傾向	↓	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今期と平年の推移




過去 2 年間の推移



発生ほ場率 : 0 % (平年値 : 26.3%)

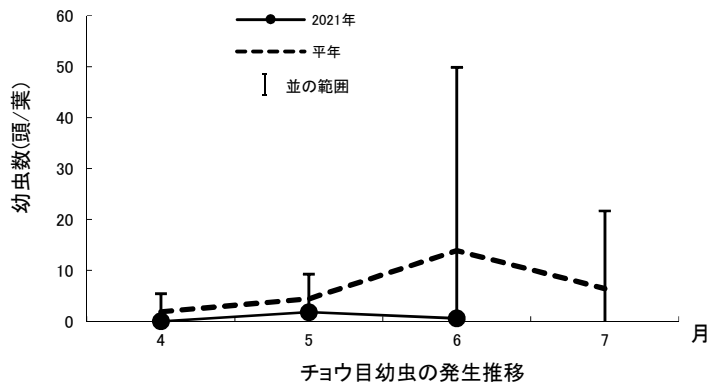
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	② チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↘	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今期と平年の推移




発生ほ場率：20.0% (平年値：39.5%)

発生種：シロイチモジヨトウ

防除のポイント

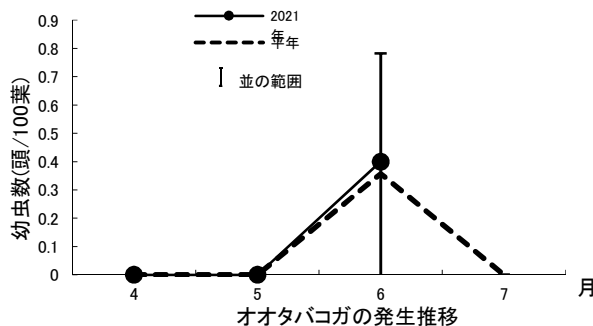
- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。



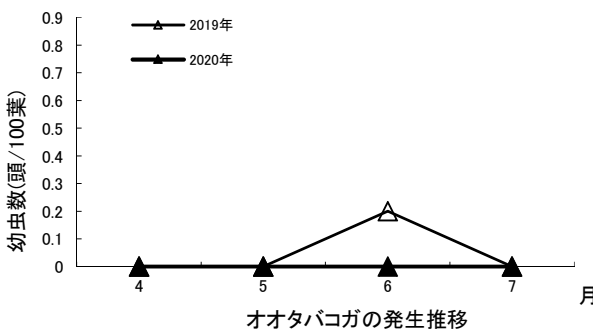
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	③ オオタバコガ		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↘	
		7 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

今期と平年の推移



過去 2 年間の推移



防除のポイント

- ・ 発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・ 葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。
- ・ 被害果や摘芯、摘花した腋芽・花蕾等の残さは、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。